

にこにこ情報

# 竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール [kikaku@ryokujukai.or.jp](mailto:kikaku@ryokujukai.or.jp)



写真提供：江尻育弘（社会保険労務士江尻事務所）

## 飛行日誌

今回は、緑樹会の経営理念の一つである「福祉礼楽の実践」について考えてみたいと思います。できるだけ平易な言葉でわかり易くをモットーにしている緑樹会の経営理念からすると、正直言つて、「福祉礼楽」はちよつと難しいなあ、という感じがします。

そもそも「礼楽」は『論語』に表された社会道徳や人間の生き方など、人間社会学をいう孔子の教えに由来するものです。しかし、長い歴史の中で多くの儒学者たちによって、「礼楽」も幾多の変遷を重ね、色々な考え方が生まれました。それでも儒学がめざす『道』があり、例えばその一つに目上の人や親に対する礼節があると言われていきます。

そんな難しいことはさておいて、緑樹会がめざす「福祉礼楽」について、金城理事長は「いつも笑顔であいさつ、そして、唇に歌を！」と、まるで茶化すように笑つて応えています。本気なのか冗談なのかちよつと戸惑いますが、でも良く考えるとなかなか言い得て妙でもあります。それは、挨拶による（礼）節と音（楽）による癒しの調和を端的に言っているからです。

人は霞を食べて生きることができないし、一人だけでも生きられません。つまり、人間は極めて社会的存在であるという前提に立てば、人は社会の一員であり、社会を良くする使命をもった一員でなければならぬということになります。

そして、「福祉礼楽」は弱い人を助け、みんなが幸福になるために、安全と安寧の社会（組織）を築く叡智と他人との共存によって、自分を磨き、楽しく生きる努力のような気がします。

ともあれ、緑樹会の経営理念である「福祉礼楽の実践」は、まず「笑顔であいさつ」がはじめの一步だと考えます。

（富永健）

# 2014

## 社会福祉法人 緑樹会 活動記録



左:新年祝賀会 右:年頭あいさつ式(1月1日)  
左下:なかのまちヤカラスによる出張演奏「旧正で〜びる!!」(1月31日)



### 祝 ケアハウスていんさぐぬ花 オープン(4月1日)



上段:ケアハウスていんさぐぬ花全景 下段:開所式及びていんさぐぬ花歌碑除幕式(3月27日)

二〇十四年を振り返りますと、四月の沖縄市長選挙をはじめ、市議会議員選挙、県知事選挙、そして、年の瀬も押し迫っての衆議院解散総選挙と、まさに選挙の年、政治の年となりました。

また、御嶽山の噴火や台風、洪水による土石流が甚大な被害をもたらした、自然の驚異を今さらながら認識させられた一年でした。

こと緑樹会につきましては、ケアハウスていんさぐぬ花が新しく開所し、総合福祉センター緑樹苑、ケアハウスはいびすかすとともに、緑樹会のめざす複合施設としての独立型経営がスタートするなど、未来への道標の年となりました。また、ていんさぐぬ花の落成式や緑樹会敬老会などの行事や平和祈念堂における奉納演奏や首里文化祭等において、緑樹会が山内盛彬伝承楽曲保存会の一翼を担い、琉球王朝礼楽の継承発展に寄与できたことは意義深いものがあつたと思えます。

### レキオ 2014 5.8



ハートでつながり交流  
みどり学童クラブ  
みどり学童の児童たちとデイサービス利用者の交流活動が琉球新報副読紙「週刊レキオ」に掲載(5月8日)



上:ケアハウスはいびすかすの七夕祭り(7月7日)  
左:ケアハウスていんさぐぬ花父の日会(6月13日)



総合福祉センター緑樹苑で行われる初夏の風物詩事業所対抗「地パリー競争」



### 長寿 新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝 (9月14日開催)



左:新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝の様子。今年は総勢14名が家族や職員と長寿の喜びを分かち合った。  
右上:新百歳には内閣総理大臣から祝状と銀杯が贈られた。  
右下:比嘉マチ子民謡研究所が祝宴に花を添える。

### ありがとう軽費老人ホーム (3月31日閉所)



軽費老人ホーム緑樹苑。35年の歴史に幕 3代目最終施設長・浜川通と職員達

特に、緑樹会が最も力を入れて取り組んだ敬老会では、十四名の利用者の皆さんの長寿を祝い、家族の皆さんをはじめ多くの来賓の方々の列席の下に、大変楽しい、そして温かい式典並びに祝宴ができましたことに、改めてお礼を申し上げます。

また、定例のふれあいパーティやピクニックには、緑樹会を支える後援会の皆さんが多数参加され、友好を深めるとともに、緑樹会の力強いサポーターとしての意気込みを感じた一年でもありました。

実り多かつた行く年二〇十四年を、さらに来る年二〇十五年に繋げ、利用者の皆さんと一緒に、家族会、後援会のご協力をいただきながら緑樹会職員は「丸」となって、これからも「幸せ家族のお手伝い」に邁進してまいります。(富永健)

# “琉球かすり”の歴史に触れ ケアハウスていんさぐぬ花 遠遊会



11月13日(木)ケアハウスていんさぐぬ花の秋の遠遊会を実施しました。

南風原町のかすり会館では、かすりの歴史のDVDや機織、かすり着物の製作の様子を見学しました。利用者から「綺麗だねえー。凄いなえー。」などの声がありました。

それから与那原町東浜に行き、広い芝生の広場にておやつ会をして楽しく過ごしました。

その後、ドライブをしましたが、参加の皆様は疲れた様子もなく、又ドライブに行こうと車中で賑やかに、話しながら無事帰ってきました。

(伊禮俊)



# 青空のもと、景色を楽しみ公園散策 ケアハウスはいびすかす 遠遊会

11月14日(金)、ケアハウスはいびすかすでは、年に一度の行事である遠遊会を行いました。

行き先は恩納村にある赤間運動公園。利用者は普段遠出する機会が少なく、一週間前から遠遊会を楽しみにしていました。

当日は青い空が広がる晴天で、まさに遠遊会日和。公園に到着すると満面の笑顔で景色を見渡し、言葉も出ないほどの喜びようでした。昼食のお弁当の後、公



園内を散策。隣接する野球場で韓国のプロ野球チームがキャンプをしており練習試合を観戦する事が出来ました。

帰路の車中で「お花とか川とか見られて、とても新鮮だったよ。本当にありがとうございました。」と感謝の言葉を頂きました。

今回もはいびすかす遠遊会は大成功で無事終える事ができました。

(古謝圭)





# 北風の寒い中でもみんな元気!!

介護老人福祉施設緑樹苑  
遠遊会



11月18日(火)、介護老人福祉施設緑樹苑では遠遊会を行い、うるま市赤道にあるミニミニ動物園に、入居者6名、職員6名で行ってきました。

曇り空で、北風が少し寒い中ではありましたが、バスの中では、入居者の金城竹子さんが、沖縄市白川の出身ということもあり、行く途中の地域のガイドをやってくれて、和気あいあいのなか向かうことができました。

ミニミニ動物園では、インコやオウムなどの鳥や陸ガメ、アルマジロなどなかなか見ることのない動物に、みなさん目を輝かせて見学しました。その後、動物園名物のシニークリームをみんな食べて、思い出の写真も撮り、楽しく過ごすことができました。

(崎原盛史)



## 仮装し、にぎやかに ハロウィンで歌とダンス披露 みどり学童 はいびすかす訪問

10月25日(土)、仮装したみどり学童の児童26名が、はいびすかすを訪問しました。

ハロウィンらしく、オレンジ、黒緑など様々な色の衣装を身にまとい変装した小さな魔女や妖怪たちは、今流行の『妖怪ウォッチ』の音楽に合わせて、かわいい歌とダンスを入居者に披露してくれました。

ダンスを終えると、入居者たちは手招きしながら「みんなかわいいね。お菓子あげようね。」(…もしかして、魔法使いのおばあさん!?)と児童全員に



お菓子のプレゼントがありました。

わずかな時間での小さな妖怪(児童)たちとの交流でしたが、楽しいハロウィンを過ごしました。(山城勝彦)

## はいびすかす 入居者 翁長嘉子さんのエッセーが新聞に掲載されました

お母話になっているスタッフの方に、カジマヤーですねえと言われて、えー私かと聞き返すと、そうですよ96歳の早生まれですから言われても、おかしなことには、私はその気が全くないので97歳まで延ばしてもいい。

**茶のみ話**

私の人生は山あり谷ありで厳しい道のりを歩んできた。少女時代にテニスが好きで、テニスをしている時に転んで左足を骨折して不自由になった。それでも当たって砕けろで、いろいろの仕事をしてきた。40歳の時に、沖縄に洋教学校がなかったため、洋教学校を建てたい思いで東京服装学院に入学した。学長は60代、副学長が30代でとても親しくさせてもらって、帰ってきたら一足遅くて学校はできている。残

カジマヤー

翁長 嘉子(97)

念なことに40歳の計はためになった。仕方ないので洋裁を兼ねて生地のお店を経営したが、これは大当たりした。夫と共に七転び八起きで、子供4人、男2人、女2人、孫4人、それぞれ好きな道を歩んで立派に育っている。

社会福祉法人緑樹会敬老会の大きな式典が始まった。新100歳4人、カジマヤー3人、トーチカ5人、人生祝い5人、いろいろたくさん催しがあった。最後に私が謝辞をするようになった。マイクを持ったことがない私が、この大きな式典にマイクを手にしてしるもどろろ長いあいさつをするよ、会場から爆笑と拍手喝采が流れ飛んできた。カジマヤーの幸が体にみなぎった。なによりも子供たちや、孫たちが立ち上がった手を振り拍手したりしているのを見て、長生きして良かったと涙がこぼれ落ちた。(沖縄市)

2014-11-13 沖縄タイムス

# 琉球の歴史探訪 世界遺産「首里城」へ

## 後援会ピクニック

「文化の日」(十一月三日)にちなみ、首里城へピクニックを行いました。台風の影響で曇り空の肌寒さを感じる中、集った二八名は一同緑樹会バスへ。移動中は宮城昭美氏(沖縄市郷土博物館)のガイドで越來城とのつながり、着物の柄や色からみる身分の違い、外壁の積み方等、首里城見学のポイントを伝授。また内間秀太郎氏の三線BGMが皆の期待感を膨らませての出発でした。

首里城・守礼の門からは、幸喜淳氏(首里城公園)のナビゲートで琉球王国の栄華の証を訪ねる旅がスタート。心地良い風に吹かれ歓会門、万国津梁の鐘、那覇市街地が一望できる西のアザナを通り、その都度、建築様式の違いや歴史の流れに触れました。

気がつけば青空が広がり、威風堂々とした正殿等の鮮やかな朱色が一層際立ち、しばし圧巻。冊封使を歓迎する儀式等へ思いを馳せました。南殿、王の執務室、正殿へと続き、皆が驚いた

真実が。なんと世界遺産へ登録されている首里城とは、正殿のガラス張りからみえる七十センチ床下のモノであるとのこと。復元はまだ六十%、新たな発見はまだ続くようです。

昼食の後は、古式行列を見学。古式行列は国王が国家安泰と五穀豊穡を祈願のため首里城下にあるお寺を参拝した行列。国王や王妃を始め摂政、聞得大君、祝女(ノロ)、女官等に扮した二百名余の市民が各々の衣装で続き、首里城下を練り歩きます。まさに琉球王国時代へタイムスリップ。その楽の音を添える路次楽と祈りを捧げるクエーナに、緑樹会礼楽塾メンバーも加わり盛り上げていました。

(幸喜穂乃)



幸喜淳氏



内間秀太郎氏



宮城昭美氏



安里則子  
(後援会会員)

## ピクニックへ参加して

当日は天候も過ごしやすく、車中では宮城昭美さん、首里城内では幸喜淳さんが、ウィットに富んだ肩肘はらず、参加者にあわせゆつくりわかりやすい説明で、沖縄の文化や伝統、琉球の時代の流れを感じる事ができました。古式行列では、その歴史を支援する団体がたくさんあり、緑樹会のクエーナや路次楽も参加されておりました。

緑樹会が文化伝統を重んじ一役を担っていることを感じました。文化の日はこのような企画があり、ピクニックは初参加でしたが大変有意義でした。後援会会員はバラエティに

富み、広がりがあるので、緑樹会運営、家族会、後援会のトライアングルの印象を受けました。また、ぜひ参加し、いろんな形で関わっていきたいという思いを新たにしました。

「野球をとめて他の福祉施設とも交流を深めています。」

緑樹会野球部(グリーンメンバース)再始動!!



緑樹会野球部  
キャプテン 比嘉 樹

皆さん、こんにちは。緑樹会野球部キャプテンをしていきます比嘉樹(たつき)と申します。

しばらくお休みしていた野球部ですが、今年4月に入社した新人職員が野球部に加入したこともあり、6月頃から活動を再開しています。ユニフォームも新調し、月一、二回ほどのペースで、他の福祉施設のチームや一般

の草野球チームとの試合を組んで交流を深めています。また、普段の業務ではなかなか関わる機会の少ない部署の職員でも、野球をとめて、先輩、後輩、同僚としてコミュニケーションを深め、良い人間関係を形成しています。チームとしての雰囲気も良く、とても楽しく野球していますよ。

今後は草野球大会出場も視野にいて活動を広げていこうと考えています。部員も募集していますので声かけてください。(☆マナー☆)笑

試合がある時は是非応援にも来て下さいねー!!



認知機能低下を抑制  
絵本の読み聞かせ

11月14日(金)  
に介護老人福祉施設緑樹苑では、日頃本を読むことが少ない入居者のために、松田聡子ケアマネージャーが絵本の読み聞かせを行いました。

本の読み聞かせは認知症の予防に効果があると言われている。今回は昔の童話の本ではありますが、近くまで来て聞き入る入居者もおり、喜んでもらえていました。これからの時間を設けて、いろいろな本の読み聞かせを行っていきたいと思います。

(兼城正彦)

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいのアイディアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい!(\*印は、会場が講師の道場等となります。)

- |           |         |         |         |
|-----------|---------|---------|---------|
| ■三板       | 第2・4(火) | ■王府おもろ* | 第2・4(水) |
| ■御座楽・路次楽* | 毎週(火)   | ■応急手当法  | 第2(木)   |
| ■島言葉      | 第1・3(水) | ■湛水流三線  | 第3・4(金) |
| ■クエーナ     | 第2・4(水) | ■PHP勉強会 | 各施設ごと   |

# 12月行事

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(月)					デイサービス交流会
2(火)		手芸クラブ	フラダンス		
3(水)				映写会	デイサービス交流会
4(木)				ハンドマッサージ	
5(金)				手芸クラブ・手作りおやつ会	
6(土)		家族会清掃			園外活動
7(日)	家族会清掃				
8(月)		カラオケクラブ			デイサービス交流会
9(火)		三板クラブ		映写会	
10(水)		防災訓練	お茶会	苑内交流	デイサービス交流会
11(木)	防災訓練	書道クラブ	防災訓練	防災訓練	防災訓練
12(金)		ミニシアター		手芸クラブ	
13(土)					園外活動
14(日)					
15(月)			誕生会		デイサービス交流会
16(火)		お茶クラブ	フラダンス		
17(水)		誕生会	おやつ会	手作りおやつ会	デイサービス交流会
18(木)		美化活動			
19(金)	誕生会	手芸クラブ		手芸クラブ・誕生会	
20(土)					園外活動
21(日)					
22(月)	クリスマス忘年会	防災訓練		クリスマス忘年会	デイサービス交流会
23(火)		三板クラブ			休園日
24(水)	防災訓練	クリスマス会		防災訓練	デイサービス交流会・防災訓練
25(木)		散髪・書道クラブ	クリスマス忘年会		クリスマス会
26(金)		ミニシアター		手芸クラブ	
27(土)					園外活動
28(日)					
29(月)		カラオケクラブ		映写会	休園日
30(火)					休園日
31(水)					休園日

## 感謝録

(平成二十六年十月一日〜十月三十一日)

(金員の部)  
大城 盛光 様

(物品の部)

- 萬 元 敏 子 様
- 渡 久 山 スミ子 様
- 平 良 幸 子 様
- 具 志 堅 トミ子 様
- 伊 禮 幸 子 様
- 大 工 廻 ヨシ子 様
- 山 内 洋 子 様
- 照 屋 与 利 子 様
- 花 城 初 子 様
- 豊 田 曉 子 様

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

※11月に予定していましたが、延期となり、下記の日程に変更となりました。

第30回緑樹会記念地域交流

### 緑樹会 グラウンドゴルフ大会

日 時:平成27年1月23日(金)  
場 所:沖縄県総合運動公園 屋内競技場レクドーム  
参加費:800円(弁当・飲み物・保険等含む)  
参加申込:申込用紙に必要事項を記入のうえ、緑樹会事務局までお申込みください。

お問い合わせ・お申込み  
(098) 930-2525 (担当:砂川)

#### 編集後記

先日、季節外れのトンボが家の中に迷い込んできました。何かの予兆か?とも思いましたが、今のところ何もありません。トンボは、前にしか進まず後ろには退かないことから、不退転の精神を象徴として、また、害虫を捕食することから「勝つ虫」とも呼ばれ、戦国時代の武士たちが好んで鎧の装飾に用いたそうです。また、トンボの別名を「アキツ」と言いますが、古事記や日本書紀などでは日本(特に本州)のことを「秋津(アキツ)と表記しており、古代の神武天皇が秋津を一望し、「形が蜻蛉(トンボ)のようだ」と言ったことからその名がつけられたそうです。他にも、楽天的な人を揶揄する場合に「極楽蜻蛉」、物事が途中で終わることを「尻切れ蜻蛉」と物事の噂えにも使われます。(ちなみに、「尻切れ」の蜻蛉は、蜻蛉草履を指すそうです)このように昔から馴染みの深いトンボですが、驚くべきは、トンボひとつでこれだけ広げる日本人の考え方「竹とんぼ」もこれに習い、広がりを見せていきます。(砂川智規)